

第20回松本市新型コロナウイルス感染症対策本部会議の結果について

(令和3年3月29日午後3時15分～)

1 県内、松本圏域及び市内の感染状況等

健康福祉部次長より、資料のとおり説明がありました。

(1) 県内の状況

上田圏域、長野県域が警戒レベル4、全県でレベル2になるなど、感染者数が増加傾向にある。

(2) 新規陽性者数

本市では、3月1日以降陽性者は散発的に発生しており、直近1週間の人口10万人当たりの新規陽性者数は2.94名（陽性者7名）であり、県のレベル2相当となっている。この間の陽性者については、単発事例や濃厚接触者からの発生であり、集団感染につながる事例は発生していない。

(3) 医療提供体制

中信地区の病床ひっ迫度は、3月28日時点で7.4%であり、同日の市立病院のコロナ病床の稼働率も25%（4/16床）となっており、圏域内の受入については、現在のところ円滑に調整できる状況である。

2 4月1日以降の対応方針（案）

(1) 現状認識

県内、松本圏域及び市内の感染状況等の説明と重複したため省略

(2) 市の方針

ア 県の対応について

危機管理部長より、資料のとおり説明がありました。

県から、前回よりも危機感を持つような協力要請が出ており、市も支援する。

イ 市独自の対応方針

危機管理部長より、資料のとおり説明がありました。

県内の一部地域において3月以降、新規陽性者が増加傾向にあることから、年度始めの行事などにより人出や会食機会が多いと見込まれる4月9日まで、現在取り組んでいる「日常回復期」を延長する。

ウ 市民への呼びかけ

健康福祉部長より、資料のとおり説明がありました。

日常回復期の感染防止のお願いとして、特に会食で注意することについて、「まつもと版“新たな会食”のすゝめ」の協力を引き続き呼びかける。

エ 日常回復期の市の対応について

危機管理部長より、資料のとおり説明がありました。

(1) 松本市保健所発足に伴う対応

- a 松本市保健所に新型コロナウイルス対策チームを編成し、事務処理が円滑に進められるよう体制を整える。

- b 感染拡大のおそれが徐々に高まりつつある中、事務の応援が必要となる場合を考慮し、感染レベルに応じた他部局からの応援体制を整える。
 - (4) コロナ禍における経済対策
 - a 制度資金メニューの見直し
 - b 消費喚起策の検討
- 3 新型コロナウイルスワクチン接種体制
健康福祉部長より、資料のとおり説明がありました。
 - (1) 接種の優先順位及び現時点のスケジュール
 - ア 高齢者（65歳以上）
令和3年4月下旬以降に接種券を発送し、5月上旬接種開始
概ね3カ月で接種終了を想定
 - イ 64歳以下の基礎疾患を有する者
高齢者が概ね終了次第、16歳から64歳の全市民に接種券を送付し、自己申告により接種
 - (2) 接種体制
 - ア 高齢者優先接種時における接種施設
市内10病院と4カ所の市営診療所での接種
南部、北部、西部保健センター及びアルピコプラザでの集団接種（土・日曜日）
 - イ 高齢者施設の巡回接種
高齢者優先接種期間に接種体制のない施設に、松本市医師会及び松本薬剤師会の協力により巡回接種チームを編成、入所者及び施設従事者に接種
- 4 松本市保健所の体制
中核市推進室長より、資料のとおり説明がありました。
 - (1) チーム編成
既存の2チームを含め、7チームを編成する。
 - (2) 体制レベルの判断要素
 - ア レベル1（基本形）
新規感染者が1日当たり4人まで
 - イ レベル2
新規感染者が1日当たり5人～9人
 - ウ レベル3
新規感染者が1日当たり10人～15人
 - エ レベル4
新規感染者が1日当たり15人以上
 - (3) 全庁体制
レベル2以上で全庁から職員の応援をお願いしたい。

以 上